

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月26日

上場会社名 株式会社 ドリームインキュベータ
 コード番号 4310 URL <http://www.dreamincubator.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 堀 紘一
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 伊藤 光茂
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

TEL 03-5773-8700

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	990	△41.6	△224	—	△239	—	55	—
21年3月期第2四半期	1,696	—	△283	—	△252	—	△298	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	586.42	583.95
21年3月期第2四半期	△3,126.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	6,383	6,310	97.4	65,175.84
21年3月期	6,198	6,092	97.3	63,263.92

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 6,216百万円 21年3月期 6,034百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
22年3月期	0.00	0.00			
22年3月期 (予想)			0.00	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

当社グループの事業は、コンサルティング事業と営業投資事業から構成されておりますが、創業以来、営業投資事業への取り組みウェイトを高めてきたため、損益に与える影響も拡大しております。コンサルティング事業の業績は安定性が高い一方、営業投資事業については売上高が株式市場における株式売却によってもたらされることが多いため、株式市況やIPO動向に伴って振幅します。従いまして、現状において業績予想を合理的に行うことが困難であるため、開示を控えさせていただきます。

なお、現時点で将来の業績を予想するのに有用と思われる情報を5ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」に記載しておりますので、ご参照下さい。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	95,379株	21年3月期	95,379株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	—株	21年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	95,379株	21年3月期第2四半期	95,379株

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間において、新興市場の株式市況は緩やかな回復の兆しが見え始めたものの、IPO市況は上場審査の厳格化・長期化が継続し、当社グループをとりまく経営環境は引き続き厳しい状況となっております。

このような経営環境の中、当社グループは長期低迷が予想される株式市況の影響を抑制し、また財務安全性を高めるべく、営業投資有価証券の売却を積極的に実施いたしました。そして売却によるキャピタルゲインを176,437千円計上したものの、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高990,573千円(前年同期比41.6%減)、営業損失224,563千円、経常損失239,633千円、四半期純利益55,931千円となりました。

(1) コンサルティングサービス売上高

大企業向けコンサルティングサービスにつきましては、新規事業の事業化支援や戦略立案プロジェクト等注力してまいりましたが、当第2四半期連結累計期間における売上高は385,575千円(前年同期比32.1%減)にとどまっております。

また、ベンチャー向けコンサルティングサービスにつきましては、新株予約権を対価とするサービスの提供を中心に実施し、当第2四半期連結累計期間における売上高は44,836千円(前年同期比33.3%減)となっております。

(2) 営業投資売上高

保有する有価証券の積極的な売却により、営業投資売上高560,162千円を計上いたしました。その内訳は、上場有価証券の売却額443,004千円、未上場有価証券の売却額106,600千円、受取配当金の受取額10,558千円であります。

なお、営業投資有価証券の減損を99,200千円計上し、当第2四半期連結累計期間の業績にマイナスの影響を与えております。

区分	第9期 第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)		第10期 第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
コンサルティングサービス売上高	635,211	37.4	430,411	43.5
大企業	568,000	33.4	385,575	38.9
ベンチャービジネス	67,211	4.0	44,836	4.6
営業投資売上高	1,061,043	62.6	560,162	56.5
合 計	1,696,254	100.0	990,573	100.0

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 連結貸借対照表

当第2四半期連結会計期間末における資産は6,383,120千円（前連結会計年度末比184,388千円増）、負債は73,116千円（同32,751千円減）、純資産は6,310,003千円（同217,139千円増）となっております。

前連結会計年度末比で、資産ならびに純資産が増加しておりますが、これは主に、当第2四半期連結累計期間における四半期純利益の計上と、当第2四半期連結会計期間末における株式相場や為替相場の変動に伴う、評価・換算差額等の増加によるものであります。

(2) 連結キャッシュ・フロー計算書

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」）は、前連結会計年度末と比較して582,348千円増加し、1,886,606千円となりました。これを活動別に記載しますと、以下の通りであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、268,557千円の増加となりました。これは主に、保有する営業投資有価証券を積極的に売却する一方で（収入の増加）、営業投資活動を慎重に行ったため（支出の減少）であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、321,151千円の増加となりました。これは主に、余剰資金運用目的で保有する有価証券（社債）の償還と、投資有価証券の売却を行ったためであります。

また、財務活動によるキャッシュ・フローは、182千円の減少となりました。これは主に、過年度配当金の支払を行ったためであります。

(3) 営業投資実行高及び投資残高

証券種類	前連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)				第10期 第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)			
	投資実行高		期末投資残高		投資実行高		期末投資残高	
	金額 (千円)	会社数 (社)	金額 (千円)	会社数 (社)	金額 (千円)	会社数 (社)	金額 (千円)	会社数 (社)
株式	445,586	7	4,063,456	61	110,000	2	3,863,802	57
新株予約権等	—	7	0	33	—	1	0	31
合計	445,586	13	4,063,456	77	110,000	3	3,863,802	72

- (注) 1 新株予約権は、当社コンサルティングサービスの対価として発行会社から無償で取得している場合がありますが、上表においては、その際の金額をゼロとし会社数のみを記載しております。
- 2 株式、新株予約権等を重複して投資を行っている会社があります。
- 3 時価のあるものについては、取得原価を記載しております。
- 4 上表には余剰資金の運用目的の有価証券及び投資有価証券は含まれておりません。
- 5 当社グループは、未公開時点では投資をしていなかったPost-IPO企業の株式をIPO後に取得する場合がありますが、上表には当該投資金額及び会社数は含まれておりません。
- 6 事業年度末において保有している新株予約権等を全て行使した場合の株式取得価額の総額は、以下の通りであります。

前連結会計年度	当第2四半期累計期間
1,044,291千円	920,791千円

3. 連結業績予想に関する定性的情報

(1) コンサルティング事業

当第2四半期連結累計期間における、コンサルティングサービス売上高の通期見込みに対する進捗率はやや低い値となっております。

今後、大企業の既存事業の改革意欲や、新規事業の立ち上げ意欲が不透明である等の状況がございますが、現段階におきましては、通期で前連結会計年度程度の売上高を見込んでおります。

(2) 営業投資事業

営業投資事業につきましては、営業投資有価証券の積極的な売却により当第2四半期連結累計期間において560,162千円の売上高を計上したものの、依然として厳しい国内IPO環境や、新興市場の株式市況の回復が不透明であることから、引き続き業績の見通しを立てにくい状況にあると認識しております。

以上から、現状において業績予想を合理的に行うことが困難であるため、業績予想につきましては開示を控えさせていただきます。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表における子会社及び関連会社の範囲の決定に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第22号 平成20年5月13日)を適用しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,940,451	1,402,618
売掛金	147,525	180,075
営業投資有価証券	3,671,572	3,855,218
投資損失引当金	△586	—
有価証券	400,000	223,920
1年内回収予定の長期貸付金	34,400	70,900
未収還付法人税等	1,304	27,591
その他	34,561	92,679
貸倒引当金	△122,973	△205,450
流動資産合計	6,106,256	5,647,553
固定資産		
有形固定資産	34,482	38,403
無形固定資産	2,739	3,213
投資その他の資産		
投資有価証券	131,453	628,361
長期貸付金	39,500	3,000
その他	108,188	108,199
貸倒引当金	△39,500	△230,000
投資その他の資産合計	239,641	509,560
固定資産合計	276,863	551,178
資産合計	6,383,120	6,198,732

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
未払金	29,568	46,389
未払法人税等	12,991	19,483
前受金	—	1,083
その他	30,557	38,912
流動負債合計	73,116	105,868
負債合計	73,116	105,868
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,613,182	4,613,182
資本剰余金	4,796,069	4,796,069
利益剰余金	△2,706,705	△2,762,637
株主資本合計	6,702,545	6,646,614
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△410,405	△551,702
為替換算調整勘定	△75,733	△60,861
評価・換算差額等合計	△486,139	△612,564
新株予約権	91,801	56,710
少数株主持分	1,795	2,103
純資産合計	6,310,003	6,092,863
負債純資産合計	6,383,120	6,198,732

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高		
コンサルティングサービス売上高	635,211	430,411
営業投資売上高	1,061,043	560,162
売上高合計	1,696,254	990,573
売上原価		
コンサルティングサービス売上原価	353,923	393,821
営業投資売上原価	1,243,299	472,551
売上原価合計	1,597,222	866,373
売上総利益	99,032	124,200
販売費及び一般管理費	382,722	348,763
営業損失(△)	△283,690	△224,563
営業外収益		
受取利息	51,685	5,644
為替差益	1,104	—
その他	5,649	4,387
営業外収益合計	58,440	10,032
営業外費用		
支払利息	3,178	—
出資持分損失	—	5,182
有価証券運用損	8,833	—
貸倒引当金繰入額	15,000	19,750
その他	35	170
営業外費用合計	27,047	25,103
経常損失(△)	△252,297	△239,633
特別利益		
投資有価証券売却益	—	4,804
貸倒引当金戻入額	—	292,726
特別利益合計	—	297,531
特別損失		
投資有価証券評価損	38,763	—
固定資産除却損	—	81
特別損失合計	38,763	81
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△291,060	57,816
法人税、住民税及び事業税	7,183	2,041
少数株主損失(△)	△44	△157
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△298,199	55,931

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△291,060	57,816
減価償却費	5,529	4,369
投資損失引当金の増減額(△は減少)	△9,960	586
貸倒引当金の増減額(△は減少)	15,000	△272,976
株式報酬費用	8,876	35,090
受取利息	△51,685	△5,644
支払利息	3,178	—
有価証券運用損益(△は益)	8,833	△434
固定資産除却損	—	81
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△4,804
投資有価証券評価損益(△は益)	38,763	—
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	693,578	361,879
売上債権の増減額(△は増加)	△61,700	32,550
未払金の増減額(△は減少)	32,418	△14,573
前受金の増減額(△は減少)	△23,504	△1,083
その他	△13,123	47,760
小計	355,143	240,616
利息及び配当金の受取額	44,472	11,347
利息の支払額	△1,409	—
法人税等の還付額	58,743	27,591
法人税等の支払額	△7,066	△10,998
営業活動によるキャッシュ・フロー	449,882	268,557
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△35,689
定期預金の払戻による収入	—	73,178
有形固定資産の取得による支出	△303	△119
有価証券の運用収支	51,567	14,354
有価証券の償還による収入	200,000	40,000
投資有価証券の売却による収入	—	199,252
出資金の分配による収入	—	30,239
敷金及び保証金の差入による支出	△8,268	△2,348
敷金及び保証金の回収による収入	1,220	2,282
短期貸付金の増減額(△は増加)	△30,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	214,216	321,151
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△900,000	—
配当金の支払額	△652	△180
その他	△35	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△900,688	△182
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,584	△7,178
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△219,004	582,348
現金及び現金同等物の期首残高	1,335,412	1,304,257
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,116,407	1,886,606

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	営業投資事業 (千円)	コンサルティング 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,061,043	635,211	1,696,254	—	1,696,254
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,061,043	635,211	1,696,254	—	1,696,254
営業利益又は営業損失(△)	△350,154	80,490	△269,664	(14,026)	△283,690

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な内容

(1) 営業投資事業・・・・・・株式等への投資事業

(2) コンサルティング事業・・・・・・ベンチャービジネス及び大企業向けの経営コンサルティング事業

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	営業投資事業 (千円)	コンサルティング 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	560,162	430,411	990,573	—	990,573
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	560,162	430,411	990,573	—	990,573
営業損失(△)	△130,477	△76,154	△206,631	(17,931)	△224,563

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な内容

(1) 営業投資事業・・・・・・株式等への投資事業

(2) コンサルティング事業・・・・・・ベンチャービジネス及び大企業向けの経営コンサルティング事業

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

本邦の売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合が90%超であるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

本邦の売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合が90%超であるため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

該当事項はありません。